

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いっぽのにじ 【放課後等デイサービス】			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日		～	2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	9
○従業員評価実施期間	2024年 12月 16日		～	2024年 12月 27日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	隣接する同法人の学童の子ども達と庭で、自然なかたちで関わることができ、長期休暇などは児童発達支援の子ども達と関わる機会もあり、年上として手本となるような行動を意識づけができる。地域で行われているイベントなどへの参加もできている。	同年代の子どもと一緒に遊ぶ中では、うまくいかないこともあるが、その際には「どうすればよかったか？」など含め、具体的な行動や言動について振り返りを行うことができる。また、児発とは関わりを持つきっかけとして、夏祭りやクリスマス会などのイベントを主催し、児発の子ども達を招待して一緒に楽しむことができるような工夫を行っている。	関わりを持つきっかけづくりを、より増やしていきたい。
2	地域コミュニティにおける活性化のためのイベントなどが近隣で行われており、事業所外の幅広い年齢層の人と関わるができる。	事業所外の人と関わることで、言葉遣いや距離感、他者との関わり方を自然と学ぶことができるようにしている。	イベント参加を通し、様々な体験に挑戦する意識づけを高めていきたい。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所で行っていることについて、広く知られていないと思われる。	周知は行っているものの、不十分である様子。	周知させていくために、様々なかたちで情報発信を行ってきたい。
2			
3			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2025年 3月 10日

事業所名 いっぽのにじ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			
	2	職員の配置数は適切である	3			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1		対象となる利用児がない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		週末に異週の活動についてチーム全体で大まかな計画を立てている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		今ある子ども達の様子に着目して、効果的な活動を取り入れたり季節に合った活動を取り入れたりしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3		利用時間に合った柔軟な支援を意識できている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		終了後もしくは次の日の朝に反省を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		目標が達成か未達成かをチームで話し合っ支援に反映させている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		子どもの状況を把握している現場の職員から情報収集を行い、客観的立場の児発管が総合的に子どもの発達を見る視点で会議に参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3		送迎時に情報交換が必要な時、適宜行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1		対象となる利用児がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3		利用児が当事業所の児発利用児のみであるため、情報共有が容易である。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1		対象となる利用児がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		法人が児童クラブを運営しており、隣接している場所であるので、交流は自然に行えている。ゆう学校、学童、古民家、地域の公園に定期的に行っている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3		放デイ連協会にも参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		事業所に迎えに来てもらっているので、常に子どもの状況を伝えている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3		親子通園時に発達に効果的な遊びの情報提供や助言を行っている。 毎年1回実施。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2		要望があれば検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		いっぽだよりを発行。	
	35	個人情報に十分注意している	3			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	地域のイベントに参加。隣りのカフェでカフェタイム(活動)や学習も行っている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		年1回実施。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1		対象となる利用児がない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		報告書を作成し、朝礼でも報告して職員間で情報共有し、事故を未然に防げるよう努めている。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2025年 3月 10日

事業所名 いっぱのにじ

保護者等数(児童数) 11 回収数 9 割合 81.8%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9					
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		3		今後、必要に応じて対応を検討します。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	1				同法人の児童クラブが徒歩圏内にあり、定期的な交流を行っています。また、近所の公園で地域の子どもとの交流も積極的に行っています。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1				今後も分かりやすく丁寧にお伝えすることを心がけてまいります。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1	2			ペアレントトレーニングの後、茶話会を実施したことがあります。今後も要望があれば状況を見て検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		1		申し出等あった場合には、迅速に対応していきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8		1			年に数回、いっぱだよりを発行しています。自己評価についてはホームページに掲載を予定しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	8			1		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7			2		それぞれのマニュアルは策定しております。総会等で周知・説明していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			1		長期休暇時に避難訓練を行っています。ただし、利用日に該当しない場合もあります。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9					
	18	事業所の支援に満足しているか	9					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。